

【津幡町】
ネットワーク整備計画

GIGA端末を使った簡易調査の結果、町立小学校9校、町立中学校2校の計11校の内、刈安小学校、笠野小学校、萩野台小学校の3校では必要なネットワーク速度（推奨帯域）が確保できていた。

国が示すネットワーク速度（推奨帯域）が満たせているか判断が難しい残り8つの学校（津幡小学校、太白台小学校、中条小学校、条南小学校、井上小学校、英田小学校、津幡中学校、津幡南中学校）について、令和7年3月末を履行期間としネットワークアセスメント¹を行った。

ネットワークアセスメントの結果、残りの8校においても、国が示す推奨帯域を満たしていることが確認され、現時点での改善は必要ないと判断される。

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

令和6年2月末時点（簡易測定時）

11校中3校 27％

令和7年3月末（ネットワークアセスメント完了時）時点

11校中11校 100％

2. 今後予想される課題やネットワーク速度の確保に向けたスケジュールについて

現在は端末利活用時に支障は起きていないが、今後、端末利活用がさらに高まる可能性があり、ネットワーク遅延、パケットロスおよび再送パケットが増える可能性がある。

今回、ネットワークアセスメントに用いた機器は、ネットワーク最適化のソリューションであり、津幡南中学校と英田小学校でネットワーク最適化機能をオンにして測定した結果、津幡南中学校は約3.7倍、英田小学校は約2.0倍のスループット値²の増加が確認できた。今後、端末利活用に伴いネットワーク遅延が起きる場合は、無線通信を可視化・最適化する機器の導入を検討する必要がある。

また、現在ローカルブレイクアウト³のために各学校は1GBベストエフォート型⁴の回線を利用しているが、1GBベストエフォート型を2GBベストエフォート型にプラン変更するなどの回線増強による改善方法も視野に入れる。

¹ 「学校内のネットワーク」（無線AP、スイッチ、FW、ルータなどのネットワーク機器とそれをつなぐためのケーブル）、「学校までのネットワーク」（インターネットや拠点間を接続する回線）の構成要素を評価し、課題の把握や原因箇所の特定を行うこと。

² 機器や通信路などの性能を表す特性の一つで、単位時間あたりに処理できる量のこと。

³ 拠点から特定の通信を直接インターネットへ接続するネットワーク構成のひとつ。

⁴ 回線業者が提示した最大通信速度を上限とし、最大限に努力した速度でインターネットに接続すること。